

時は流れて



先日の福岡同窓会おめでとうございました。

西高の同窓会特有の明るさと生命力、そして「博多もん気質」が加味された豪快で賑やかな素晴らしい会でした。

私は定年退職して現在九年目を迎えています。特別に仕事をやる訳でもなく、ゆっくりとした時間の流れを楽しんで

寺田 昭治 (世界史)

でいます。

長崎西高には昭和五十年から六十二年まで十二年間勤務しました。科目は世界史、部活動は柔道でした。その後併設されていた通信制に三年間勤務しましたので通算十五年間西高の敷地内に勤務したことになりました。

今回の同窓会には第二十九回卒で当時担任していた三年四組のメンバーに誘われて参加させていただきました。

西高の存在を知ったのは大崎高校に勤務していた頃、教

長崎西高創立期



戦後、二十三年学制改革によって旧制中学・女学校は新制高校となる。十月長崎は進駐軍の意向を素直に受け入れて旧長崎長崎中学・同瓊浦中学・同長崎高女・市立高女を合併、東西二校とする。男女共学を命じられたからである。

他県は男子高校、女子高校とした所が多い。県立長崎中学は、歴史もやや古かったからか、その解体を不服とした。

生徒は住居によって東西二校に分配。職員は年齢・教科等を考慮して平等になるように二分、それぞれ二つの封筒に入れ、校長二人がその封筒を選びとられた。校長はその前から決定され、東高は県立高女の山本千里先生、西高は県立長崎中学の小谷巨三郎先生と決定していた。西高は被爆倒壊していた県立瓊浦中学跡地に新築されることになったが、当初は鳴滝の県立長崎中学の校舎を利用

塚原 末子 (国語)

し、東高は県立高女(西山)の校舎をそのまま利用。校名も最初は長崎西高だった。第一・第二とすれば序列がつくというので東・西になる。

これも東が先になるんじゃないか、とか東側(鳴滝)なのに何故西なのかなどと疑問をもたれた。

生徒は地区で分けたが、被爆間もない頃のこととて西高地区の人家は少なく東西の境界線は旧市街内に出来た。この区分は年々変わらざるを得なくなつて兄弟が東・西に別れるようになった。当時、小学校区というのがあって、

勝山小学校区の中に西山方面が入っていた。当初、西山の生徒達は東高を目の下にしなが

ら西高生にされ、不満も生じた。しかしいつの間にか彼らも西高を愛するようになる。浜町町も西高だった。

県立長崎中学と県立高女に寄宿舎があり男子の寄宿生は西高、女子の方は東高になった。西高が現在の地に

移つてしまつてからも寄宿生は鳴滝から通つた。県立長崎

頭として西高から赴任された室田先生からでした。体育の柔道専門でもあり部活指導やその他の面で、多くのものを学ばせていただきました。

先生からは西高は大学紛争を契機に、補習などに見られる極端な進学主義を是正し自らを校訓に授業中心の進学指導を展開している特色のある学校で、長崎県で教員生活をするのなら一度は経験するべしと勧められ、島原高校を経て西高に勤務した次第です。

西高で驚いたのは、生徒諸君が明るく和気あいあい、そして驚くほどの活力を持ち文字通り「よく学びよく遊べ」の精神が満ち溢れていた事で

中学・西高と変わった鳴滝校舎は後に県立短大が利用するようになった。

この頃まだ鳴滝にいた寄宿生は「長崎県立女子短期大学」という門柱の文字の真ん中辺りがくついていたので「先生、あそこは妾大学」と言うのだと言つて笑わせる。行つてみると確かに「長崎県妾短期大学」と読める。



旧制の中学生・女学生として入学した生徒達は新制度の下、中学三年生になる。統合時この学年は東西高それぞれに所属は決まっていたが現校馬場中学で両者混合東西高併設中学として半年共に過ごした。夫々東西の四回卒業生になる。旧制中学・女学校とのかかわりもあつて仲が良い。

す。運動会のバレード作りの情熱はその典型ですが、三年生はさらに秋深い雲仙へのバス旅行と今では考えられない程の学校行事を精力的にこな

また、当然の事かもしれないがせんが教師自身が研修や読書にひたすら打ち込んでいること、社会科の松井先生など培保己一の「群書類従」「続群書類従」を讀破されていられるのは驚きでした。当時の教師には度量・技量に優れた、力量のある方々が多かつたように思います。また社会科だけでも十数名の教師がいまし

この学年が新制高校の一年になった時、竹久保校舎はまだ完成していません。それで一時期鳴滝校舎で授業。この校舎は庭が有名だったが男子の学校で古い為かなり傷んでいた。掃除の見廻りに行く

おかしく叱ることも出来ない。これは戦前、兵士達にたきこまれた「軍人勸諭」をもじつたらしい。いつ頃始まったのか女の私にははつきりしないが旧制中学、高校には教練という科目があり、退役軍人が各校に一人ずつ配属されていたようだ。生徒達も「軍人勸諭」をたたき込まれたのであろう。それにしても男の子のユーモラスなこと。一日一回は吹き出したくなる出来事・話があつた。私は帰路、一人でそれを思い出してはニヤニヤして歩いていたら私を見た通行人は気遣い女と思つたかもしれない。ある日の下校時、少し前をラグビー部のラムさん(仇名

たが、他教科の先生方ともお互いに仲が良く、優れた部分を学び合つたものでした。「自律」は私たち教師にも大きな課題でした。生徒の皆さんが自律できるような「自律の仕掛け」を工夫する事が教師の任務だと思つた。

人は誰でも人生の岐路に立つ時、己の軌道を修正しながらより強く生きて行こうとするし、またそれは無意識の内に行われる事もあります。人はそうやって新しい自己を形成していくものと思つた。

努力して、自らの能力と心の扉を開いて行く事こそ自律であると考えていました。西高の思いは尽きません。

先年亡くなられた阿久悠さんは「悪友」をもじり命名されたそうです。俗に同窓会やクラス会など別名「悪友会」などと呼ばれたりしますが西高は決してそんな事はないと思つた。冗談は兎も角として阿久悠さんの詩に「夢は砕けて夢と知り、愛は破れて愛と知り、時は流れて時と知り、友は別れて友と知り」の言葉があります。「時は流れて時と知り、友は別れて友と知り」：人の想いや繋がりが時間と空間を瞬時に飛び越えるのが同窓会だと想います。

西高福岡同窓会が益々発展することを祈念しています。

職員室にもあつた。職員会議も自由な発言。理路整然たる中にも議論に熱が入っていた。たばこを吸つた生徒の処分問題でも教育原則にまで発展する。時間無視。電燈がともつても気にしない。会議の途中、高さ五十七センチ位の細長い缶が二ヶ運び込まれる。菓子問屋にあるものである。中には大人の指大の細長い鉛が入つていて、これが二本ずつ配られる。夕食代わり。隣の同僚と、今日も夜までかかるのね、と笑う。小谷校長先生は職員を信頼していられるのか、会議中によく眼をつぶつて聞いていられる。「よきに計らえ」という感じ。果てしない論争に、真面目で控え目の板橋教頭先生が、時々議事進行を促される。しかし、こういう職員会議も組合運動が始まつてからは次第になくなり、各科の主任や選出された委員達が決定した事項を伝達するだけの職員会議になつて行く。これは多分、後の時代。勿論これに異議を申し立てることも多い。とにかく西高創立期は物も無い焼跡の多い時代だったが皆が生々しい時代だった感がある。

賀川 浩二 大塚エイジェンシーオフィス チーフ コンサルタント

山崎 二郎 九州総支社 天神エージェンシーオフィス オフィス長

TRY SYSTEM LAB co.,Ltd. 有限会社 トライ システム ラボ

山崎 二郎 九州総支社 天神エージェンシーオフィス オフィス長

TRY SYSTEM LAB co.,Ltd. 有限会社 トライ システム ラボ

長崎西高福岡同窓会 事務局次長 井澤 哲 (31回)

AVISPA FUKUOKA HOME GAME SCHEDULE



第7号

発行 長崎西高福岡同窓会  
連絡先 福岡市南区若久5-36-5  
於 保裕子  
☎/☎092-541-1035  
E-mail adq67280@rio.odn.ne.jp

題字は南川健二氏(7回)

# 平成21年6月13日 第12回総会 参加者 180名

## 同窓会の歩み

実行委員長 前田 弘文(14回)

第十二回同窓会がJALリゾートシーホークホテル福岡に於いて、今回初めて長崎、在京、関西の各同窓会会長揃っての御出席を頂き、総勢一七五名で盛大に開催されました。これもひとえに白石会長をはじめ役員、幹事の皆様のご協力のお陰と感謝しております。

私は今回の同窓会当番幹事として二回目の役を引き受けることになりました。振り返りますと、福岡同窓会の始まりは、長崎県人会の会議、総会などの中で、長崎西高の同窓生がおられることが分かり、福岡でも同窓会をやるという話になり、平成十年十月に設立総会が開催されたわけですが、翌十一年六月、最初の福岡同窓会を開催するに当たり、4回生の峰会長を中心に、4の付く回生が中心になり準備を進めていきました。今年は当番幹事も全回生を一巡して振り出しに戻ったわけで懇親会も十一回を数えることになりました。

最初は立食パーティーの形式で静かな同窓会でしたが、平成十四年の第五回から幹事の発案でテーブルに座るようになり、アトラクションも抽選会も盛んに行われるようになりました。今回の同窓会は24回生の山口さんのお骨折りでシーホークが使えることになり、アトラクションも50回生の永渕邦佳さんというオペラ歌手に来ていただき、皆様に青春の昔を思い出していただくことを趣旨で、戦後の懐かしい歌から時代を追っていろいろな歌を歌ってもらいました。また今回の総会では、福岡同窓会の会旗を新調し、校章がついたストラップも作りました。今後も会員の皆様のご協力により益々福岡同窓会が発展しますようお願いいたします。皆様のご協力ありがとうございます。

## アトラクションの舞台裏

山口 一雄(24回)



深夜の衛星放送で、昭和の映像に当時流行った音楽をオーバードアップした番組が流れていました。ナツメロCDを販売するショッピング番組でした。懐かしさには見え入っている時に「来年の同窓会のアトラクションはこれで行くかな」とフツと思ったのは昨年の初秋でした。当初はCDと同窓諸氏の卒

業アルバムの写真を重ねたら上手くいく、と考えていました。暫くしてひよんな事から「永渕邦佳さん」という50回生で北部九州を中心に活躍しているオペラ歌手の素敵なお嬢さんに会った事でなま歌にしようという方向転換。更に彼女の舞台を見て感動。「こりゃ本物だ！今年の同窓会出席者はきつと感動の涙を流すに違いない」と、根拠のない自信が沸々と湧いて来ました。しかし世の中そんなに甘くない！もちろん解っていたのですよ。写真を先に集めて曲

を当て込もうと先輩方からアルバムを借りた。がしかし昔のアルバムの写真は小さくて使えない物がほとんど。おまけにパソコンでの編集が苦手。本当に弱りました。まず34回生の中村君というパソコンの名手をゲット。年代別のヒット曲を調べ上げ、同期の松尾君が出来事集を調べ上げてくれました。当て込む候補曲を選び出した時には既に五月に入っていました。それからの作業はまるで八月末の高校時代ソックリ。永渕さんの献身的な協力により、西日本短期大学の音楽室で最後の仕上げを行ったのは本番の直前でした。残念ながら本番で涙を流してらう事は出来ませんでした。本格的なお

## 平成21年度長崎西高福岡同窓会総会・懇親会出席状況

卒業回生	名簿人数	年会費 1,000	年会費 納入率	総会・懇親会 6,000	出席率	前年対比 (増減)
旧職員	10	4	40.0%	4	40.0%	1
瓊中回	31	16	51.6%	0	0.0%	-4
1回生	3	2	66.7%	0	0.0%	0
2回生	6	4	66.7%	1	16.7%	1
3回生	11	9	81.8%	1	9.1%	-1
4回生	25	13	52.0%	4	16.0%	2
5回生	18	9	50.0%	1	5.6%	-1
6回生	20	11	55.0%	0	0.0%	-4
7回生	18	16	88.9%	7	38.9%	0
8回生	23	16	69.6%	9	39.1%	3
9回生	18	9	50.0%	4	22.2%	0
10回生	10	6	60.0%	0	0.0%	0
11回生	16	9	56.3%	1	6.3%	0
12回生	37	27	73.0%	18	48.6%	3
13回生	23	11	47.8%	1	4.3%	-7
14回生	43	20	46.5%	17	39.5%	11
15回生	28	21	75.0%	12	42.9%	3
16回生	21	8	38.1%	2	9.5%	2
17回生	20	14	70.0%	4	20.0%	-1
18回生	28	10	35.7%	4	14.3%	-1
19回生	28	9	32.1%	2	7.1%	-2
20回生	8	2	25.0%	1	12.5%	0
21回生	25	10	40.0%	5	20.0%	1
22回生	17	8	47.1%	1	5.9%	0
23回生	27	10	37.0%	5	18.5%	-9
24回生	30	12	40.0%	4	13.3%	0
25回生	41	9	22.0%	5	12.2%	0
26回生	8	2	25.0%	0	0.0%	0
27回生	19	6	31.6%	2	10.5%	2
28回生	18	8	44.4%	0	0.0%	-4
29回生	34	12	35.3%	13	38.2%	3
30回生	35	12	34.3%	8	22.9%	1
31回生	27	11	40.7%	8	29.6%	-2
32回生	18	6	33.3%	3	16.7%	-1
33回生	25	7	28.0%	5	20.0%	-3
34回生	4	1	25.0%	1	25.0%	0
35回生	3	1	33.3%	1	33.3%	1
36回生	17	5	29.4%	2	11.8%	-1
37回生	6	1	16.7%	0	0.0%	0
38回生	15	4	26.7%	2	13.3%	-1
39回生	9	3	33.3%	3	33.3%	2
43回生	15	2	13.3%	1	6.7%	1
48回生	5	1	20.0%	1	20.0%	1
50回生	4	1	25.0%	1	25.0%	0
53回生	2	1	50.0%	1	50.0%	0
54回生	2	1	50.0%	1	50.0%	0
56回生	2	2	100.0%	2	100.0%	2
合計	924	382	41.3%	168	18.2%	-3

## 「ひたむきになれる才能」

中村 美保(56回)

辻田 史(56回)

天才と呼ばれる人たちは、生まれながらにその道の才能を持ち合わせたというより、「努力する才能」に恵まれた人なのではないでしょうか。野球選手イチローの連続安打記録という類まれなる記録は、類まれなる努力に裏打ちされたものであるように、西高とは「努力する才能に恵まれた人」の集まりではないかと思えます。高校三年間で勉強や部活動を

とすれば一生懸命になること、努力することは恥ずかしい、という風潮があるといえる現代で、西高は逆に皆が一生懸命で、努力することが当たり前のような校風だったと思います。そのような環境のお陰で私も「努力する習慣」を自然に身に付けることができました。出口の見えない不安な大学受験の日々も、乗り越えることができたのは周囲のひたむきさに鼓舞されたからです。社会人になって尚更「努力を続けること」が何よりも大切だ」と思うようになりました。過程よりも結果が求められはしますが、いい結果は努力という愚直さの積み重ねで



「今日自分は昨日までの自分の努力の積み重ねでしかない。」という、生きていく上での根本的な心構えを根付かせてくれたのは西高での三年間の日々であり、西高で出会った仲間達でした。西高生のひたむきさは、高校の窓から見えていた長崎港に差し込む朝日のような、爽やかさ・清々しさにも似ていると感じます。西高が長崎、そして全国に爽やかな風を送るような存在であってほしい。これからも西高が「努力する才能」に恵まれた人たちの集まりであり続けてほしいという願いを込め、西高と本同窓会の益々の発展を祈りながらこの文章を終わらせて頂きます。ご精読どうもありがとうございます。ご感想もお待ちしております。

西高の思い出



池崎 善博(生物)

昨年福岡同窓会の会報を見させていただく機会があり、写真を見ましたら私がバドミントン部の顧問をしていた時の女子生徒が西高の制服姿で写っていて大変懐かしく思いました。今年、同窓会の案内をいただきましたので初めて出席させていただきました。

たのかと力強く感じました。私が西高に赴任しましたのは昭和五十年四月でした。以来、昭和六十二年三月まで十二年間お世話になりました。担任した生徒が六〇〇名くらい、授業で教えた生徒が二〇〇〇名くらいだったでしょう。生物の先生は三名でしたから生物履修者の三分の一のヒトとしか出会いがありませんでした。

赴任当時、旧制中学からの先生もいらつしやうて、三代で行った私は若手でした。当時、職員室には西高アカデミズムが漂っていました。一年は十三クラスまであつて、運動会などの時は、マスコットも三十九個でき、それはそれは見事なものでした。お昼の「もしも教師でなかつたら」

帽子やサブザック、靴なども規制せず生徒の判断にお任せでした。生活指導部であった私たちも幸いに出番は少なかったです。西高の自由な雰囲気が高校進学の中学生にも人気でした。

この頃、平日の補習授業は行われておらず、もっぱら添削によって学力向上を目指していました。三十人くらい受け持つと添削も時には自宅に持ち帰って、してあげないと翌日返せないというようなこともありました。現在の第一体育館ができるまでは、今の第二体育館で入学式や卒業式を行っていました。式の最後にハトを飛ばし、校長の話は誰も聞いていないなど今思うと滑稽でした。

この体育館は旧軍隊の飛行機の格納庫を解体して持ってきたものだといわれています。低い三角屋根でしたから、バドミントンのシャトルが天井にて全反射することもありました。私が西高に赴任した頃は、西高名物だったウサギ狩りはもう中止になっていました。私が中学生の頃、西高生が意気揚々としてウサギをかついで帰る姿を見てうらやましく思ったものでした。

私は長崎東高に進学しましたので、もちろんウサギ狩りはありませんでした。西高にいたときの最大の出来事は何といっても野球部が夏の甲子園に長崎県代表として出場したことでした。教員生活で甲子園に応援に行けるのは最初で最後のチャンスかも知れないと感じ、私も行きました。工藤選手に封じ込められたとは言え、在校生にも卒業生にもエネルギーを与えてくれた歴史的な出来事でした。

話は変わりますが生物室には九官鳥を二羽飼ってありました。学校に迷い込んできたもので、生徒にも大人気でした。先生のあだ名を覚えさせようとした生徒もいましたが、幸いに九官鳥が覚えなくてほっとしました。

今思っても西高生は学力もあつたし、熱心で、紳士的、温厚な生徒ばかりだったと思います。卒業生の皆様へますますのご活躍をお祈りします。

青い山脈・赤い血脈

楠村 正治(7回)

今年の総会・懇親会も盛大で楽しいものでした。私も、アトラクションの懐かしのメロディ、中でも「青い山脈」を聴き、口ずさんでいるうちに六〇年昔にタイムスリップした気分でした。映画「青い山脈」は一九四九年から一九八八年までに五回作られているようですが、私は、今井正監督による最初の作品を中学一年か二年生(西大村中)の時に見て、青春の入り口にいた年頃のせいでしょうか強烈な印象が残り、主題歌のメロディを聴くと七三歳の今でも条件反射的に心は青春時代に遊びます。余談ですが、映画で女学生寺沢新子演じた前長崎税関長を務めた人でそ

の官舎が筑後町にあつたそうです。戦後その跡地に建てられた大蔵省長崎財務部に、私も若いころ三年ほど勤務しました。

さて、映画と同名の原作小説の作者は青森県弘前市生まれの石坂洋次郎で青森県や秋田県内の旧制中学校や旧制高等女学校の教師を経験した人ですから、作品にもその経験が生かされているのでしょう。他にも「若い人」や「石中先生行状記」など沢山の作品があります。「行状記」は、硬軟取り混ぜたエピソードに満ちたユーモア溢れる小説でいちど読み出したら止められずに読み耽った記憶があります。

ところで、青森県出身の作家といえば、その作品が青春の文学と言われ、今年生誕一〇〇年の太宰治はあまりにも有名ですが、「走れメロス」以外の作品は読んだことがありませんでした。それが、最近あるきっかけからその主要作品を読み始めています。インターネットの「青春文庫」で無料で読めるので便利です。さて、そのきっかけとは、新聞か雑誌で読んだ太宰の言葉でした。それは、「真の自由思想家なら、いまこそ何を措いても叫ばなくてはならぬ事がある。天皇陛下万歳!この叫びだ。」というものですが、詳細を知りたい、太宰と同郷でその作品を長年読み続けてきたという作家の長部日出雄の近著「太宰治一〇〇の名言・名場面」

後の一節ということ。私は常日頃から、敗戦を境にそれまでの日本を否定し去るような軽薄で左翼的な風潮が蔓延し、それが現在まで尾を引いていることに悲憤慷慨しておりますので、無頼派といわれる太宰を見直したという次第です。戦争責任や反省が云々されるとき深く考えるべきことは、事実を枉げたり特定の個人にレッテルを貼って安易に指弾したり、猿でもできる表面的な反省だけで済まし、或いは必要のない反省をする一方で真に反省すべきことがなごりにされていることではないでしょうか。例を挙げれば、火野葦平は「麦と兵隊」など戦争小説を発表したとして無責任な指弾をうけましたが、その作品は戦争の現実をありのままに表現した傑作で、アメリカ軍情報校では火野の作品には戦意高揚ではなく厭戦気分を感じると

言ったそうです。また、評論家の小林秀雄は「利口な奴はたんと反省するがよい。私は馬鹿だから反省なぞしない」と言っております。

実は、私昔から皇室への尊崇の念が強く名前に南北朝時代の南朝の忠臣楠木正成に似た部分があることが秘かな自慢でしたが、先年母方の祖母の実家である長崎市伊良林町の光源寺、楠達也住職に楠姓の由来を聞きましてら楠木正成と繋がりがあるとのこと、僅かでも血が繋がっているのではないかと嬉しくなりました。私の尊皇の根底には、日本の国土(青い山脈)と良き伝統や文化を受け継いできた人々(赤い血脈)の象徴として、国の発展と国民の幸せを日々祈り続けておられる天皇陛下に対する敬愛の念があります。皇室ある限り日本は不滅と信じております。

と、それまでの東京生活を回想して疎開中の津軽の実家で書かれた「十五年間」の最

持ち帰って、してあげないと翌日返せないというようなこともありました。現在の第一体育館ができるまでは、今の第二体育館で入学式や卒業式を行っていました。式の最後にハトを飛ばし、校長の話は誰も聞いていないなど今思うと滑稽でした。

この体育館は旧軍隊の飛行機の格納庫を解体して持ってきたものだといわれています。低い三角屋根でしたから、バドミントンのシャトルが天井にて全反射することもありました。私が西高に赴任した頃は、西高名物だったウサギ狩りはもう中止になっていました。私が中学生の頃、西高生が意気揚々としてウサギをかついで帰る姿を見てうらやましく思ったものでした。

私は長崎東高に進学しましたので、もちろんウサギ狩りはありませんでした。西高にいたときの最大の出来事は何といっても野球部が夏の甲子園に長崎県代表として出場したことでした。教員生活で甲子園に応援に行けるのは最初で最後のチャンスかも知れないと感じ、私も行きました。工藤選手に封じ込められたとは言え、在校生にも卒業生にもエネルギーを与えてくれた歴史的な出来事でした。

話は変わりますが生物室には九官鳥を二羽飼ってありました。学校に迷い込んできたもので、生徒にも大人気でした。先生のあだ名を覚えさせようとした生徒もいましたが、幸いに九官鳥が覚えなくてほっとしました。

今思っても西高生は学力もあつたし、熱心で、紳士的、温厚な生徒ばかりだったと思います。卒業生の皆様へますますのご活躍をお祈りします。

次回総会予定

日時：平成22年6月19日(土)16:30~  
場所：アークホテル博多ロイヤル(天神)  
会費：7,000円(含年会費1,000円)



有限会社 クリーンメンテナンス  
代表取締役 下野新平  
15回生(ラグビー部)  
〒802-0016 北九州市小倉北区宇佐町1丁目8-42  
TEL(093)511-2898  
FAX(093)511-2833  
携帯 090-3603-1657

長崎西高福岡同窓会  
ゴルフ同好会幹事 前田弘文 (14回)  
保険代理店  
〒815-0031 福岡市南区清水4-1-24  
電話 092-552-3022 FAX 092-541-2584

長崎西高福岡同窓会  
顧問 山崎明治 (9回) (第3代会長)  
〒811-0212 福岡市東区美和台7-10-4  
電話 092-607-1967  
eMail meijiya@jcom.home.ne.jp

社団法人全日本能率連盟認定(No.11340)  
国際コンサルタント機構認定(No.11209)  
マスター・マネージメント・コンサルタント  
長崎西高福岡同窓会 顧問(初代会長)  
4回生(ラグビー部OB) 峰祥躬 Mine Yoshimi  
マネージメント・オフィス  
〒811-1344 福岡市南区三宅1-10-1  
Phone&Fax 092-561-3582  
E-Mail ymine@jcom.home.ne.jp

長崎西高福岡同窓会  
副会長 於保裕子 (15回)  
広報委員  
西高同窓会幹事  
〒815-0042  
福岡市南区若久5丁目3番5

九州共立大学 教授  
工学博士 江口弘文 (15回)  
工学部メカエレクトロニクス学科  
北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8  
TEL(093)693-3191  
FAX(093)693-3078  
E-mail: eguchi@kyukyuo-u.ac.jp

TOBATA LIONS CLUB  
長崎西高等学校福岡同窓会会長  
白石広海 (12回)  
白石産業株式会社  
会社 北九州市八幡西区本城御前2-5-22  
TEL 093-602-2547 FAX 093-603-5906  
自宅 北九州市戸畑区中本町1-1  
TEL 093-882-2300 携帯 090-3604-2729  
ホームページ http://hiro.or.tv/ メール hiro@or.tv

長崎西高福岡同窓会  
顧問 楠村正治 (7回) (第2代会長)  
福岡市東区香椎駅東3-20-19  
092-661-3684  
fwka1679@mb.infoweb.ne.jp

医療法人 北九州病院  
副理事長 森田順之 (15回生)  
〒803-0812  
北九州市小倉北区室町3丁目1番2号  
電話(093)561-0039  
FAX(093)562-1103  
E-mail: h-morita@kitakyu-hp.or.jp

長崎西高福岡同窓会  
副会長 奥田邦夫 (15回)

長崎西高福岡同窓会  
副会長 木下師博 (14回) 音楽部  
勤務先 アーテック株式会社 代表  
福岡営業所 〒814-0043  
福岡市西区野方2-24-16  
電話(092)811-5681(FAX)(092)811-5680  
E-Mail kinoshita@arttech.co.jp  
URL http://www.arttech.co.jp

日本医療機能評価機構認定病院  
内科 医師  
中河原孝 (8回生)  
医療法人 光洋会 赤間病院  
〒811-4147 福岡県宗像市石丸一丁目6番7号  
TEL(0940)32-2206 FAX(0940)33-5957  
http://www.akama-hp.or.jp

平成20年度 長崎西高福岡同窓会 会計報告

自 平成20年4月1日
至 平成21年3月31日

(単位:円)

Table with columns: 科目, 内 訳, 金額, 科目, 内 訳, 金額. It details the financial report for the fiscal year 2008-2009, showing income and expenses.

三同窓会の連携を

長崎西高関西同窓会会長

山口 修 (19回)



福岡同窓会の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度、白石会長さんの「在京・関西・福岡の三同窓会の連携、連絡、交流を深め、減少しつつある同窓会名簿の拡充と、今一度絆を深めよう。」とのご提案で、関西から二名で参加させて頂きました。

山口 修 (19回)
込むか、参加会員を増やすための会員動向の情報交換(個人情報保護法という問題はありますが...)等々を話し、また、会長及び事務局どうしが相互の同窓会総会へ参加することにより会を盛り上げようとの話し合いが出来て有意義であったと思えます。

さて頂き、まず参加人数の多さに驚きました。(関西の倍です。)しかも若い層の方々もそれなりにいらした感じがしました。当然のことですが会場雰囲気アットホームで、私などもずつと仲間に入ってしまった福岡同窓会でした。

当日の懇親会を演じられた方々のセンスも素晴らしい、歌声にも心が和みました。そして、そして一番の驚きは、あれだけ同期の方々やワイワイやっているのに必要時時は私語を慎まれる福岡同窓会会員の皆様への敬意でした。

福岡の皆さんがいつまでも明るく、お元気でそして楽しくお過ごしになられます様に、また福岡同窓会の今後益々の伸展を祈念申し上げますと共に、母校長崎西高を新しい感性で更に輝かしく発展させる後輩の皆様の大いなる頑張りご期待しております。

汽車通学

在京同窓会長

村田 輝夫 (25回)



ふるさととは? 勿論、長崎である、といたいところだが、実のところ、私は茨城県水戸市で生まれ、北九州・小倉の小学校に入学、三校目の熊本小学校を卒業し、そのまま熊本で中学入学したものの、福岡県久留米市の中学校を卒業した。そして高校入学、長崎西高である。高校三年間を長崎で過ごし、昭和四十八年に卒業後、大学、会社勤めを通して現在までの三十数年間、ずつと首都圏住まいである。

それでも、「ふるさととは?」と聞かれれば、やはり「私のふるすとは長崎。」と答える。両親が共に長崎で親戚が多いせいもあるが、三年間だけの長崎の思い出はその他のどの土地の出来事より強く心に刻まれている。「高校生」というおそろくは人生の中でもっとも純粋で多感な青春真っ只中の時期であったことは間違いない。当然のことながら、三年間の思い出の中心は西高(四十二年振り)バレー部の先輩にお会いしました。最初は何となくごちなかつたのですが、後半にはすつかり当時の先輩後輩になり、なんだかほっとしました。次にお会いした時はきつと固い握手から始まると確信しています。

関西同窓会は昭和五十六年、長崎西高が甲子園出場を果たした時に発足しました。皆様もそうでしょうか、特に関西の幹事会では会員倍増は、これしかないと言われます。どうぞ

であり、長崎西高の思い出はまた、長崎への郷愁そのものでもある。私にとって郷愁を掻き立てるひとつが「汽車通学」である。今なら「ふるさと長崎」と言ってもお許し頂けるものと思うが、正確には、私は長崎からの汽車通学組であった。当時の長崎は、今では信じられないだろうが、所謂いなか、へき地の代名詞(しかしながら、私にはふるさとを満喫できる素晴らしいところである)であり、高校二年の夏頃までだったと思うが、まさに蒸気機関車に牽引された石炭の匂いのする客車で、道ノ尾を挟んで浦上駅まで毎日通っていた。深夜ラジオに耳を傾け夜更かしの代償に重い顔を擦りながらの通学バトル。「遅刻坂」の前のもうひとつのハードルがこの汽車の出発時間間に間に合わせることであった。暗れの日には最短距離となる長与川の川を横切る飛び石を渡り、ほんの少し余裕のセーフ。雨の日はこの手が使えず遠回りの橋を渡ってギリギリセーフ。

汽車に飛び乗って一息つくのと、どこにでもありそうな恋の結果に喜び、がっかりをもう二八年も続けています。優秀な後輩諸君に、何とか同窓会の為にも願を叶えて欲しいものです。昨日バスケット女子がインターハイ出場を果たした大阪で、千葉国際と戦いましたが惜しくも敗れてしまいました。文武両道を後輩達が実現していることに嬉しくなりました。

陣の内脳神経外科
院長 陣内 敬文 (25回)
〒816-0802 春日市春日原北町3丁目63
(西鉄春日原駅西口 福銀オク)
Phone: 092-582-3232
ドック専用: 0120-083-222
http://www.JNS.info

meiji 明治乳業グループ
所長 立石 勝英 (23回)
九州明乳販売株式会社
宮崎営業所
〒889-1605 宮崎県宮崎郡清武町大字加納甲1927番地1号
Tel:0985-85-8852 Fax:0985-85-8861
E-mail:katsuhide\_tateishi@q-meihan.com

医療法人 皓歯会 岩本 歯科
歯科研修会 オーラル クリエーション
歯科医師 岩本 憲一 (23回)
〒850-0015 長崎市桜馬場2-1-11
TEL (診) 095 (824) 7052
FAX 095 (827) 7329
TEL (自) 095 (822) 3923
(携帯) 090-36081426
E-mail: aat35750@par.odn.ne.jp

Garden Hills Women's Clinic
ガーデンヒルズウイメンズクリニック
〒810-0033 福岡市中央区小笹5-15-21
TEL (092) 521-7500
FAX (092) 521-7503
E-mail: ushimaru@gardenhill.jp
http://www.gardenhill.jp

29 回生一同
回生幹事: 花田 玲子 末吉真理子
片山英一郎 戸川 純一
山口 雅彦 原 慎 清孝
大町 彰紀 一瀬 晋也
松本 伸幸 三浦 純一
浜田 久美 高柳 篤江
総務委員長: 平松 一雄

KUMON
公文式 三宅二丁目教室・日佐教室
算数・数学 英語 国語 フランス語
指導者 井上り子 (23回)
(三宅二丁目) 〒811-1344 福岡市南区三宅2-1-7
(日佐) 〒811-1311 福岡市南区横手3-19-16
tel:092-552-6822 fax:092-404-0369
携帯:070-5694-0271

Risk management KRC group
損害保険・生命保険代理店
株式会社 KRC 山崎 孝 (23回)
〒812-0007 福岡市博多区東比恵2丁目7-18 KRCビル
TEL 092-477-5199 FAX 092-477-5499
携帯 090-9793-8166
E-mail t-yamasaki@krc-g.com
URL http://krc.krc-g.com

長崎西高福岡同窓会
吉田 慎一 (21回)
山口 一雄 (24回)

長崎西高福岡同窓会
綾部 圭太 (30回) バレー部
綾部不動産鑑定株式会社
〒810-0001 福岡市中央区天神4-8-2 天神ビルプラス 6F
TEL092-600-8414 FAX092-716-4280
E-Mail kayabekantei@har.bbq.jp

長崎西高福岡同窓会
副会長 柳瀬 雅子 (25回) 剣道部
西高句会メンバー
合気道: 祥平塾
健康コンサルティング
E-mail: masako.yanase@jp.fujitsu.com
いつまでも元気に、生き生きと!
気になることは早めにご相談ください。
同窓生: 無料 (〃。〃)

セブン-イレブン 福岡野多目店
内野 玲子 (23回)
〒811-1347 福岡市南区野多目2-28-16
電話 092 (565) 5508
那珂川病院向い

住宅検査保証協会
国土交通大臣登録住宅性能評価機関第12号
代表取締役社長 大場 喜和
評価員・一級建築士
〒130-0022 東京都中央区西馬場1-9-20 新中島ビル5F
TEL.03-5625-8411 FAX.03-5625-8414
E-mail:ohba@nj-inc.co.jp
関西支店: 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-9-20 新中島ビル5F
TEL.06-6838-8939 FAX.06-6838-8929
九州支店: 〒815-0033 福岡県福岡市南区大塚1-8-1 大塚中央ビル2F
TEL.092-554-3000 FAX.092-554-2966